科目名	生活科学	講師	非常勤講師
履修時期	1年　前期	単位数	1
		時間	30

＜科目設定理由＞

生活科学は、衣食住をはじめ生活の色々な現象を科学的に学習する。また、生活を取り巻く環境が人間に与える影響等や、生活に係る社会的課題、生活に関する制度などについても触れ理解する。
地域とのつながりが希薄となった現代では若者の生活体験や異なる世代への理解が乏しくなっている。自分の身近なところから学習し、特に自分の生活はもちろん、看護に目を向け患者の生活にもつなげて理解を深めることのできる人材の育成を図る。

生活は個々の価値観や生活の時代性、これまでの置かれた状況が反映されるものであることや、外国人やマイノリティの存在など、多様な生活の概念を理解する。さらには日常生活のみでなく非日常（災害など）についても学習し、目まぐるしい生活の進化にも対処できる能力を養う。

学習目標	1　日常の生活現象を科学的に捉え、生活課題を見つけ理解する。 2　生活に関する衣食住の実態や問題点を客観的に把握し、日常の生活に生かしていく力を身につける。 3　家庭経済・消費生活、生活の諸課題について理解し、実践力を養う。 4　自らの生活を管理・運営でき、看護実践にも役立てる。また災害等の対応も身につける。 5　多様な社会、人間性について理解する。
学習内容	Ⅰ　生活と生活科学 【1】生活と科学 【2】生活科学とは 【3】生活課題 Ⅱ　食事と生活 【1】栄養素と栄養バランス 【2】食品と栄養 【3】食の安全性【4】健康と食生活 【5】食料事情と今後の課題 Ⅲ　被服と生活 【1】被服の機能と快適な衣生活【2】被服の素材と品質管理 【3】被服管理 【4】その他 Ⅳ　住生活 【1】住居とは【2】住空間と建築【3】ライフステージと住まい【4】住居と安全性【5】その他 Ⅴ　家庭経済・消費生活 【1】家庭の経済と生活【2】消費者問題 Ⅵこれからの生活 【1】生活水準【2】家族構成とライフステージ【3】高齢者対策と子育て対策 【4】人生における社会参加【5】生活文化の大切さ【6】人間の生活とマイノリティ Ⅶエネルギー問題と災害 【1】エネルギーの現状【2】災害について【3】日頃の準備
授業形態	講義
評価方法および評価の観点	定期テスト（筆記試験）・ レポート
テキスト	「生活科学」 オーム社
参考資料・図書	「くらしの豆知識」国民消費者センター、「食品成分表」女子栄養大学出版部　等
履修上の留意事項・受講条件	